

平成30年度 第2回和歌山県道路交通渋滞対策協議会

日時：平成31年 3月22日（金） 14：00～

場所：和歌山河川国道事務所 5F 501・502会議室

議事次第

1. 開会

2. 挨拶（和歌山河川国道事務所 小澤所長）

3. 議題

（1）主要渋滞箇所について

資料1

（2）開通路線の効果について

資料2

（3）観光地における交通状況の中間報告

資料3

（4）今年度と次年度の渋滞対策について

資料4

[参考資料]

和歌山市中心交通流動・主要渋滞箇所位置図

災害時の渋滞対策の取組みについて

4. 閉会（和歌山県 県土整備部 道路政策課 楠見課長）

平成30年度 第2回和歌山県道路交通渋滞対策協議会
出席者名簿

所 属		役 職	氏 名	備 考
	和歌山県警察本部 交通規制課	課長	小林 進	(代理) 係長 淵上 芳行
◎	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所	所長	小澤 盛生	
	国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所	所長	堤 英彰	(代理) 課長 中村 恭介
	国土交通省 近畿地方整備局 道路部 道路計画第二課	課長	中川 圭正	(代理) 課長補佐 松岡 康雄
	国土交通省 近畿運輸局 和歌山運輸支局	支局長	川隅 則明	(代理)総務企画部門首席運輸企 画専門官 大前 功
	西日本高速道路㈱関西支社和歌山高速道路事務所	所長	村井 茂	
	和歌山市 都市建設局 道路河川部 道路政策課	課長	山本 敦弘	
	和歌山県道路利用者会議 (公益社団法人和歌山県バス協会)	副会長 (会長)	久保 洋介	(代理) 専務理事 森下 清司
	公益社団法人和歌山県トラック協会	副会長	榎本 智信	
	公益社団法人和歌山県観光連盟	副会長	沼田 久博	
	一般社団法人和歌山経済同友会	事務局長	山本 茂雄	
○	和歌山県 県土整備部 道路政策課	課長	楠見 和紀	
	和歌山県 県土整備部 道路保全課	課長	汐崎 功	
	一般社団法人和歌山県タクシー協会	会長	川村 昌彦	
	一般社団法人和歌山県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	西村 芳通	
	和歌山県個人タクシー協同組合	副理事長	中尾 政明	

◎会長、○副会長

	事務局			
	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所	計画課		
	和歌山県県土整備部	道路政策課		

和歌山県
観光連盟



西日本高速(株)
和歌山高速道路
事務所



近畿運輸局
和歌山運輸支局



和歌山県警察本部
交通規制課



和歌山県
バス協会



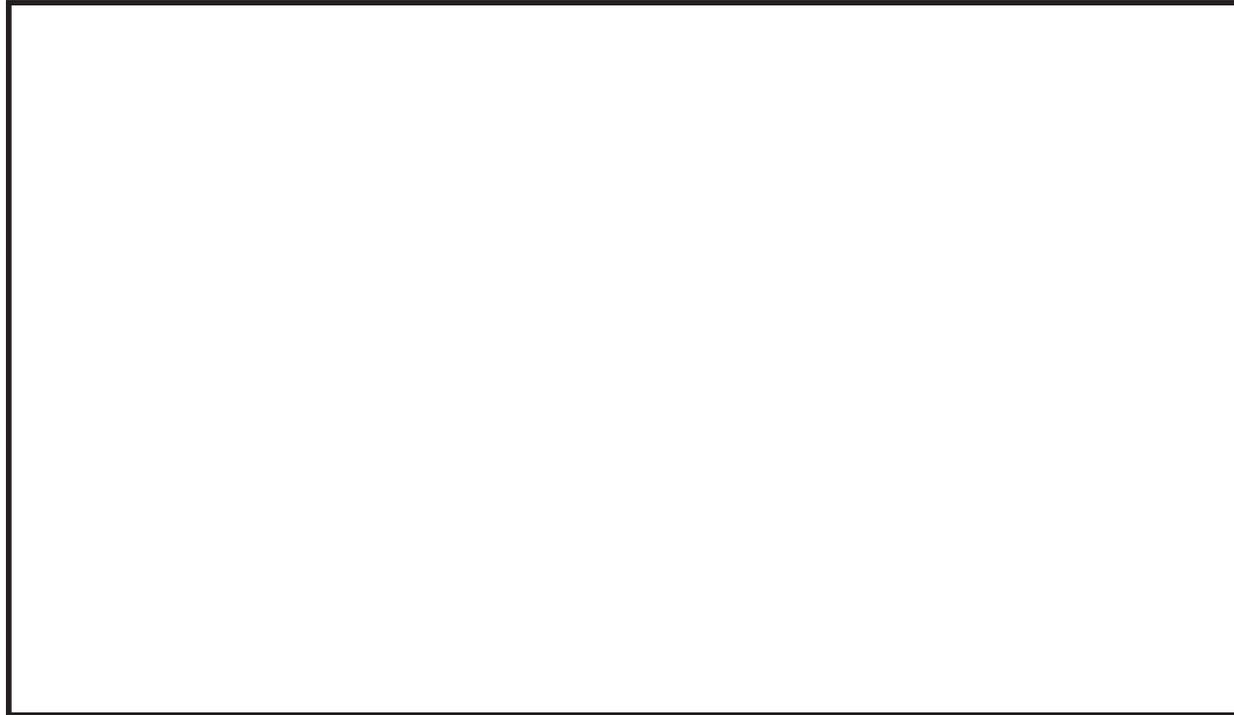
和歌山県
トラック協会



和歌山県
ハイヤー・
タクシー協会



和歌山県
個人タクシー
協同組合



道路計画
第二課



和歌山河川
国道事務所



紀南河川
国道事務所



和歌山県
道路政策課



事
務
局



和歌山
タクシー協会



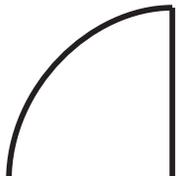
和歌山
経済同友会



和歌山市
道路政策課



和歌山県
道路保全課





平成30年度
第2回 和歌山県道路交通渋滞対策協議会資料



主要渋滞箇所について

和歌山県道路交通渋滞対策協議会



1. 渋滞対策協議会の検討経緯について

渋滞対策の方針

- 「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化が議論されていること
- 民間プローブデータが容易に取得可能となるなど、交通実態の観測環境に大きな改善が見られること

課題の状況を継続的に把握・共有するとともに、新たな交通観測データの分析等により効果的な渋滞対策の推進に取り組む

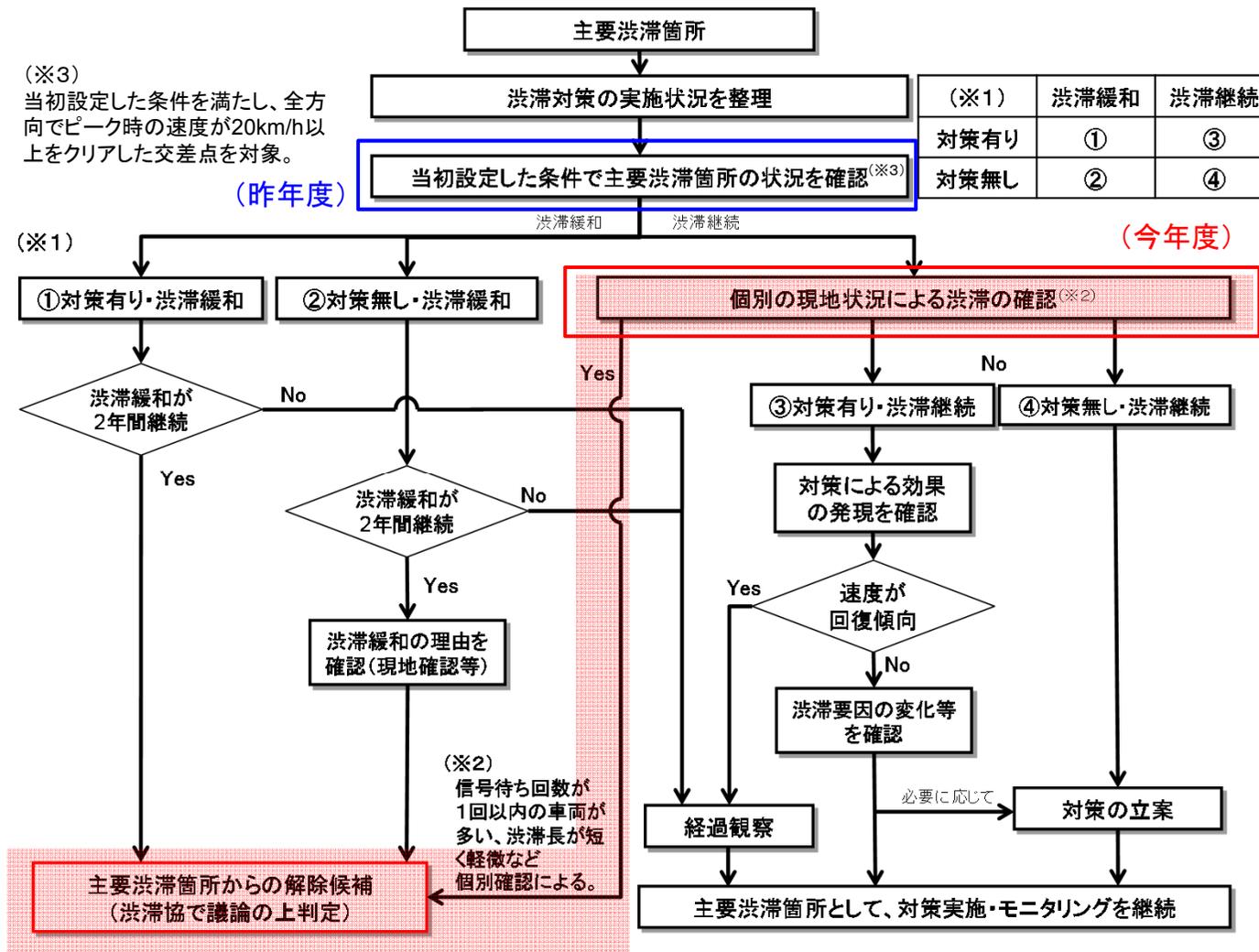
渋滞対策検討の経緯

主要渋滞箇所の検討



主要渋滞箇所解除の考え方

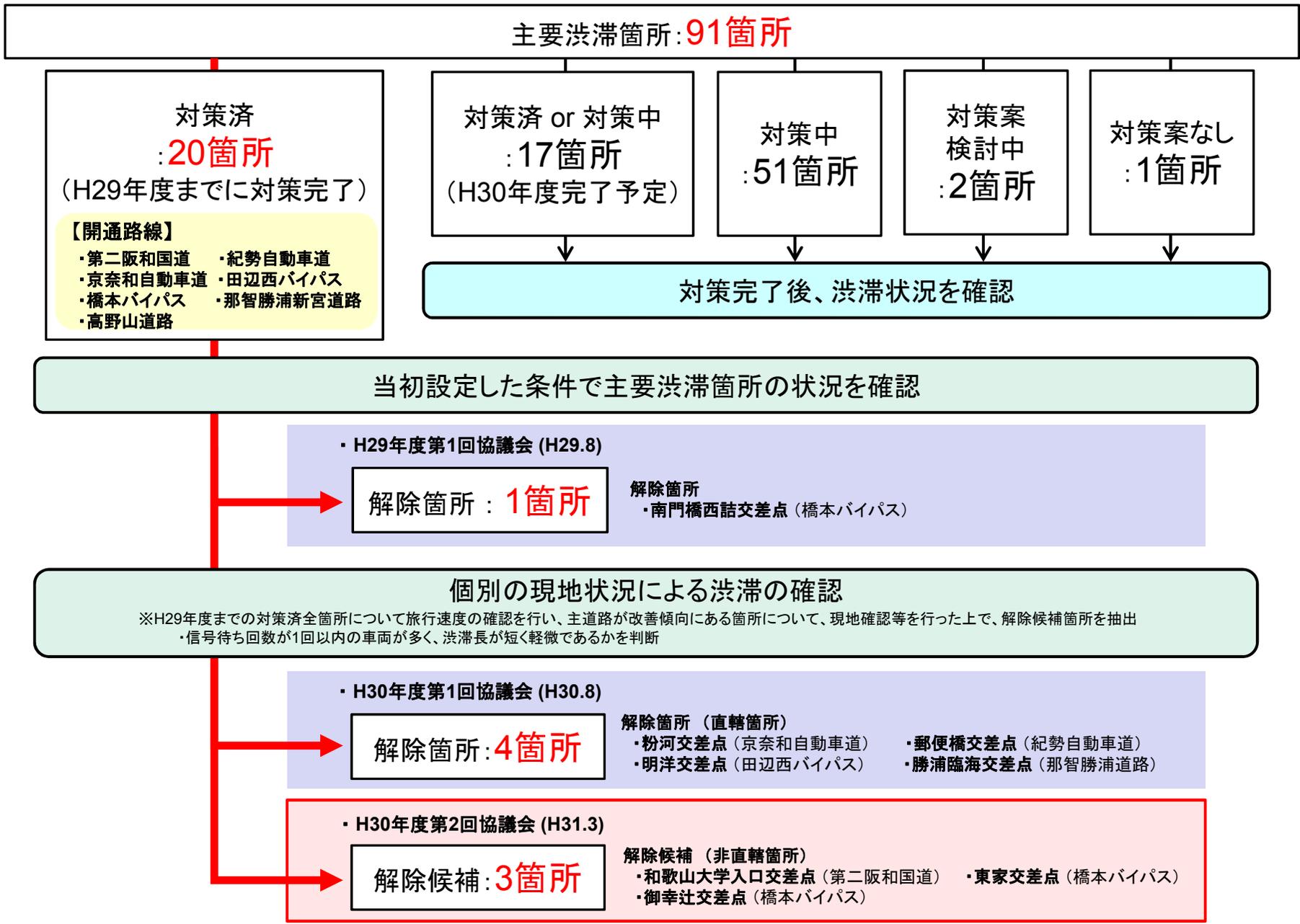
【主要渋滞箇所解除フロー】



(昨年度) 当初設定した条件を満たし、かつ全方向でピーク時の速度が20km/h以上を2年連続でクリアした交差点を対象に解除

(今年度) H29年度までの対策済全箇所について、上記条件は満たさないが、個別の現地状況による渋滞の確認を行い、解除候補箇所を抽出
・信号待ち回数が1回以内の車両が多く、渋滞長が短く軽微であるかを判断

主要渋滞箇所解除の経緯



対策済主要渋滞箇所的位置図



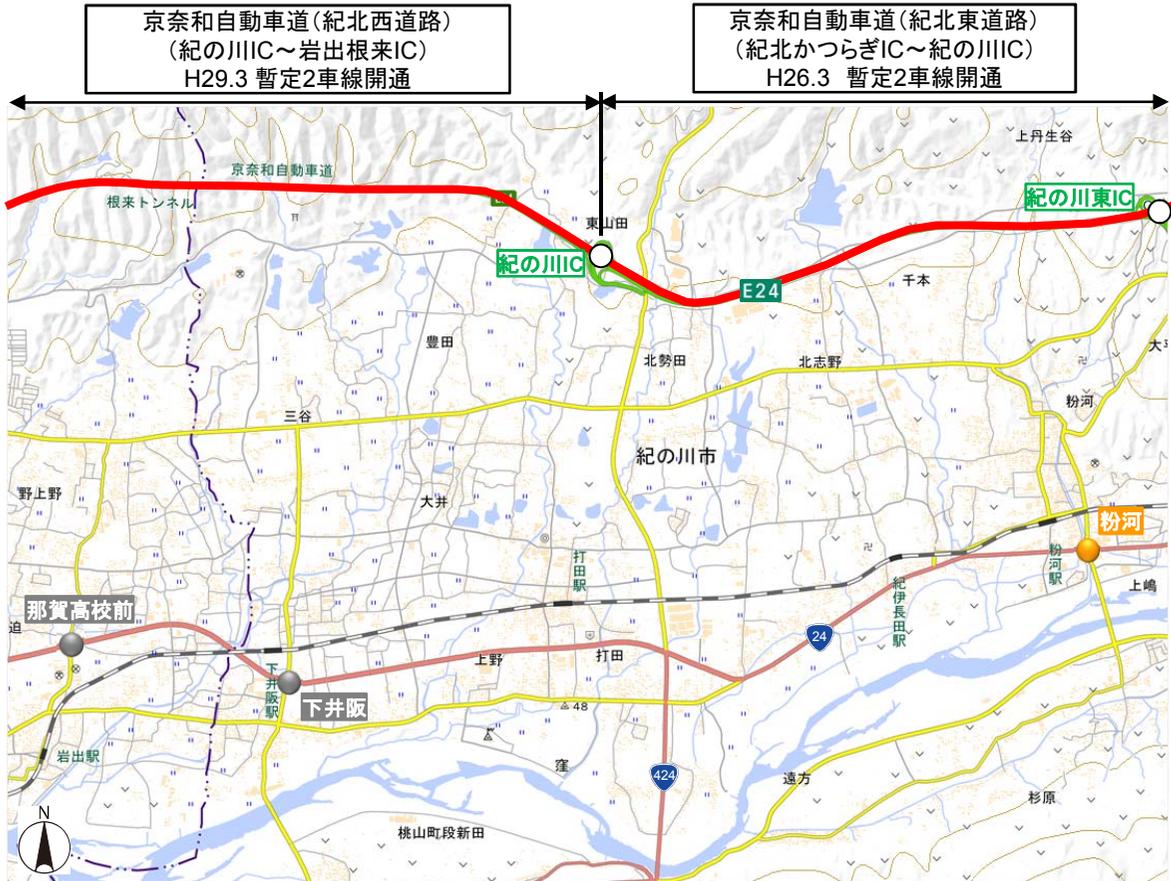
主な対策済事業	主要渋滞箇所	
	路線名	交差点名
一般国道26号 第二阪和国道	県道752号 (旧国道26号)	和歌山大学入口
		延時
狐島		
御膳松		
	県道7号	次郎丸
一般国道24号 京奈和自動車道	国道24号	那賀高校前
		下井阪
		粉河
		市脇
一般国道371号 橋本バイパス	国道371号	御幸辻
		南門橋西詰
		東家
一般国道371号 高野山道路	県道53号	千手院前
近畿自動車道 紀勢線	国道42号	天王池
		朝来駅南
	郵便橋	
	県道31号	橋谷
一般国道42号 田辺西バイパス	国道42号	明洋
一般国道42号 那智勝浦新宮道路	国道42号	勝浦臨海

対策済主要渋滞箇所的位置図(拡大図)

一般国道26号
第二阪和国道

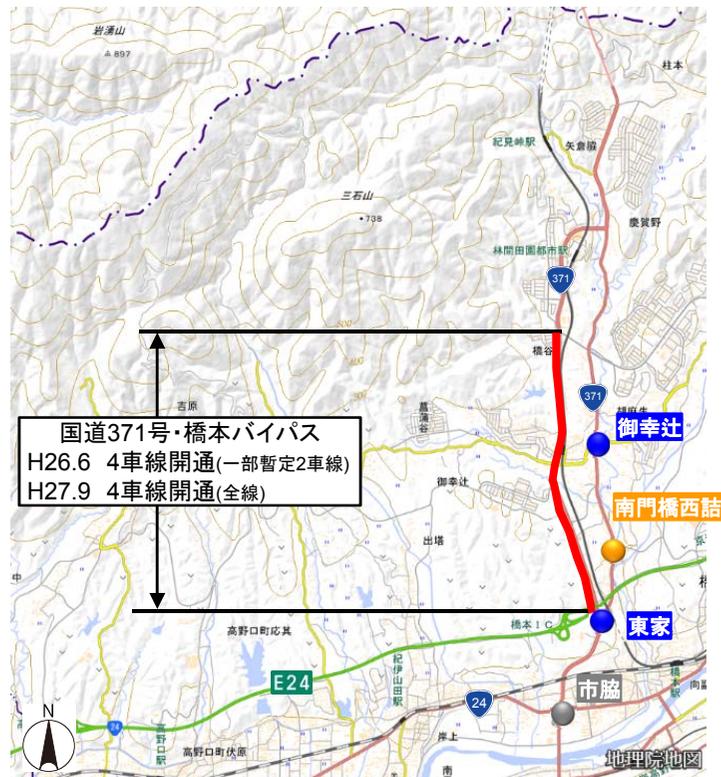


一般国道24号
京奈和自動車道



対策済主要渋滞箇所的位置図(拡大図)

一般国道371号
橋本バイパス



一般国道371号
高野山道路





主要渋滞箇所の状況確認、解除の検討について

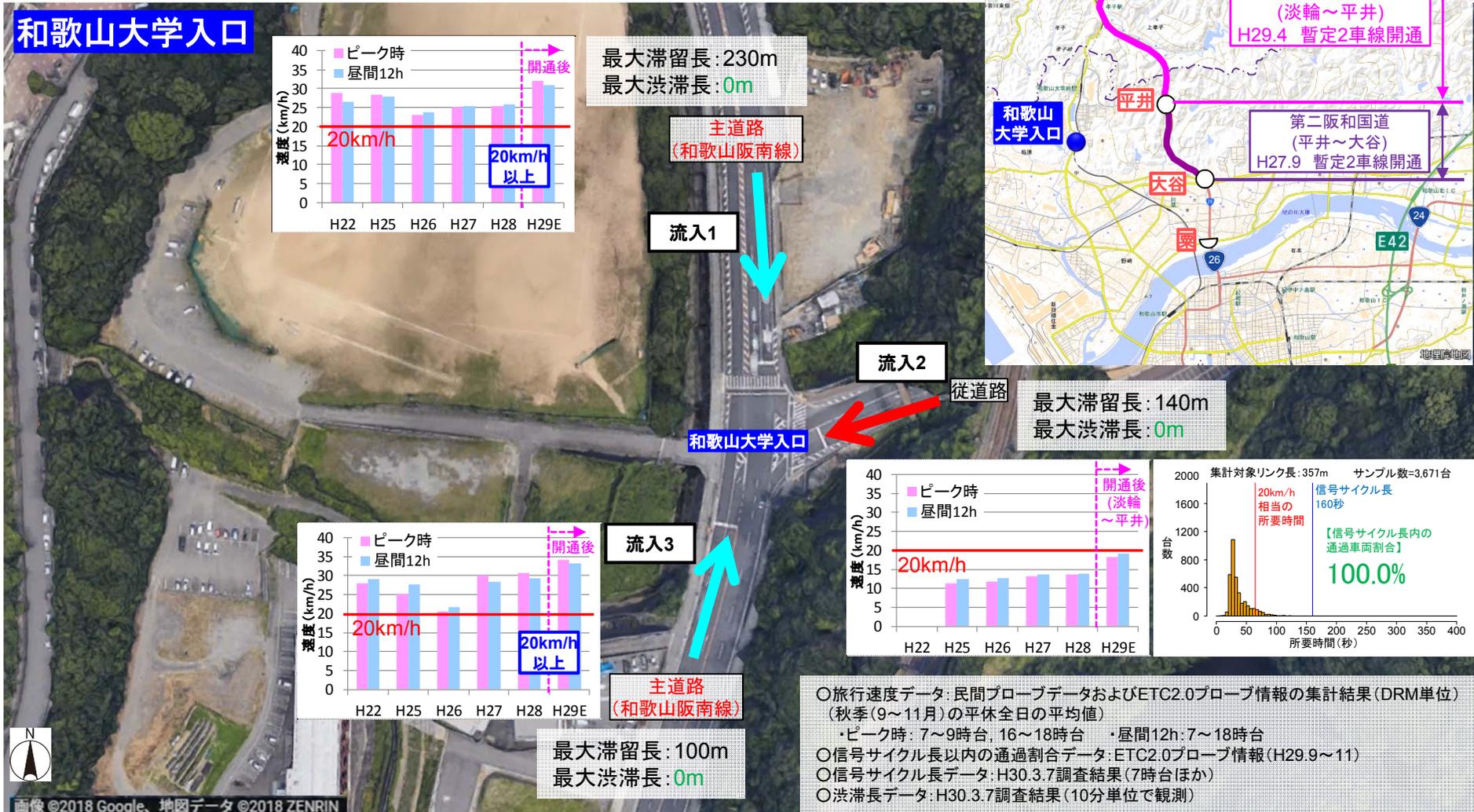
主要渋滞箇所の解除候補の渋滞状況の確認

◆和歌山大学入口交差点

- 主道路の旅行速度は20km/hを超えている。
- 一方、従道路では20km/h以下となるが、信号サイクル長以内で通過する車両の割合は高く、また、渋滞長調査では渋滞長は観測されていない。

注) 旅行速度、信号サイクル長以内の通過割合は3ヶ月間のサンプルデータ、渋滞長は特定の1日の実測データである。

和歌山大学入口



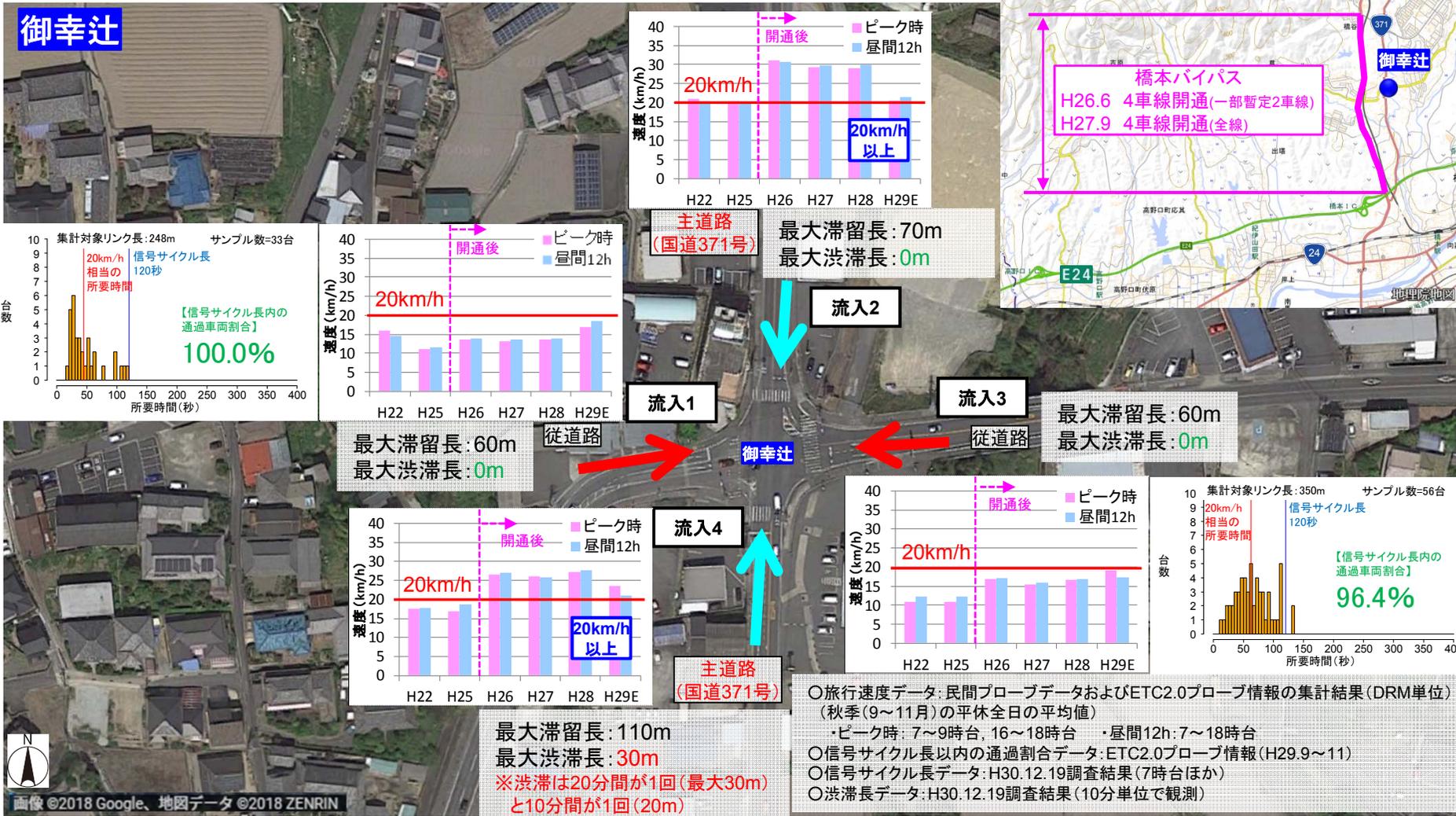
- 旅行速度データ: 民間プローブデータおよびETC2.0プローブ情報の集計結果 (DRM単位) (秋季(9~11月)の平休全日の平均値)
 - ・ピーク時: 7~9時台, 16~18時台
 - ・昼間12h: 7~18時台
- 信号サイクル長以内の通過割合データ: ETC2.0プローブ情報 (H29.9~11)
- 信号サイクル長データ: H30.3.7調査結果 (7時台ほか)
- 渋滞長データ: H30.3.7調査結果 (10分単位で観測)

主要渋滞箇所の解除候補の渋滞状況の確認

◆御幸辻交差点

- 主道路の旅行速度は20km/hを超えている。
- 一方、従道路では20km/h以下となるが、信号サイクル長以内で通過する車両の割合は高く、また、渋滞長調査では渋滞長はほとんど観測されていない。(渋滞は短時間で最大渋滞長は30m)

注) 旅行速度、信号サイクル長以内の通過割合は3ヶ月間のサンプルデータ、渋滞長は特定の1日の実測データである。

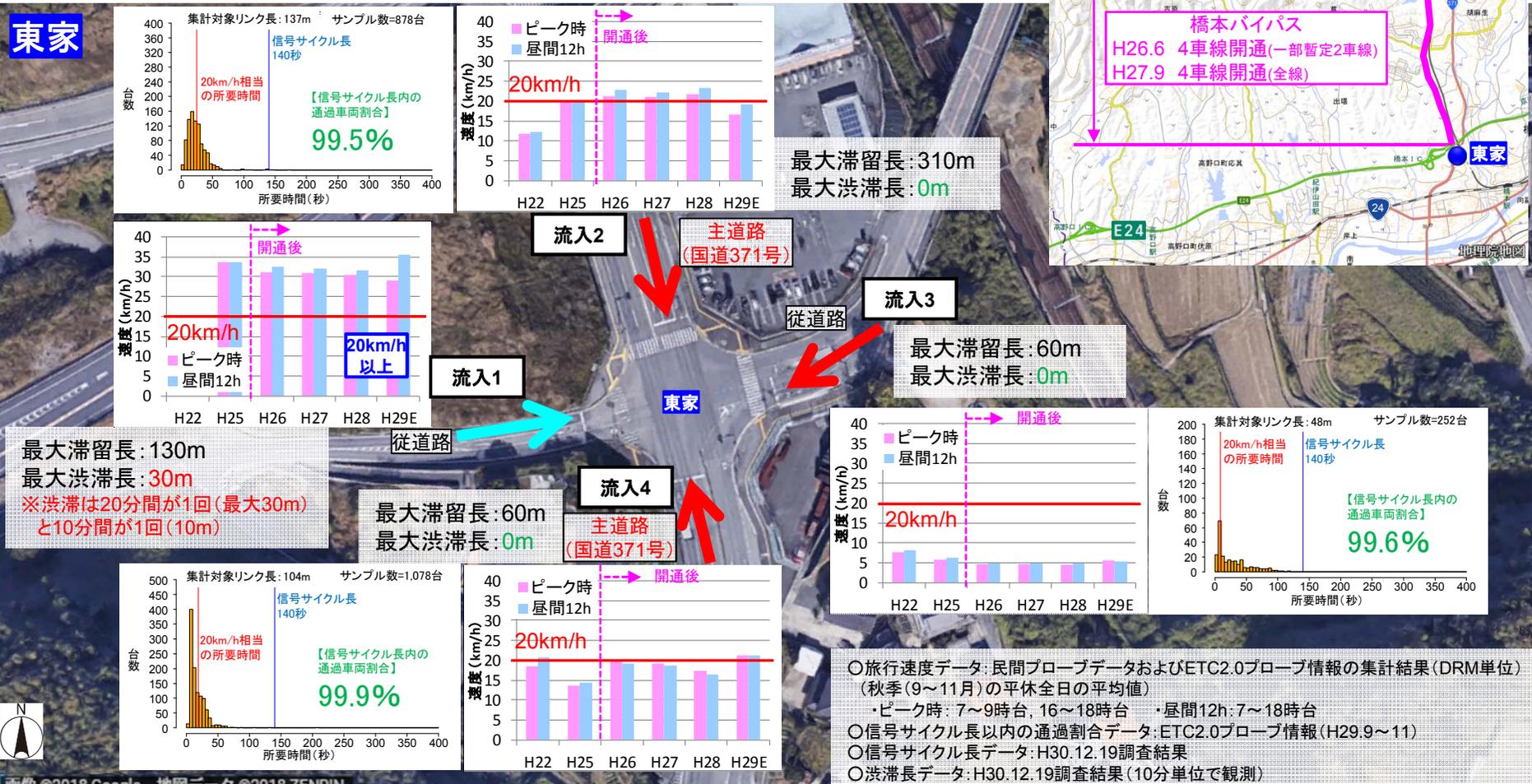


主要渋滞箇所解除候補の渋滞状況の確認

◆東家交差点

- 主道路では20km/h以下となるが、信号サイクル長以内で通過する車両の割合は高く、また、渋滞長は観測されていない。
- 一方、従道路の流入1では、20km/h以上となるものの、渋滞長調査では軽微な渋滞のみが観測されている。(渋滞は短時間で最大渋滞長は30m)。また、流入3では20km/h以下となるが、信号サイクル長以内で通過する車両の割合は高く、また、渋滞長調査では渋滞長は観測されていない。

注) 旅行速度、信号サイクル長以内の通過割合は3ヶ月間のサンプルデータ、渋滞長は特定の1日の実測データである。



- 旅行速度データ: 民間プローブデータおよびETC2.0プローブ情報の集計結果(DRM単位)(秋季(9~11月)の平休全日の平均値)
 - ・ピーク時: 7~9時台, 16~18時台
 - ・昼間12h: 7~18時台
- 信号サイクル長以内の通過割合データ: ETC2.0プローブ情報(H29:9~11)
- 信号サイクル長データ: H30.12.19調査結果
- 渋滞長データ: H30.12.19調査結果(10分単位で観測)

画像 ©2018 Google、地図データ ©2018 ZENRIN



平成30年度
第2回 和歌山県道路交通渋滞対策協議会資料



開通路線の効果について

和歌山県道路交通渋滞対策協議会





西脇山口線(田屋工区)の開通効果

1-1. 西脇山口線の開通状況

- 西脇山口線では、平成30年3月の田屋工区の開通により、川永工区を除き4車線通行が可能となった。
- 阪和道をまたぐ田屋工区の開通であるため、阪和道を横断する交通流動の変化を確認した。

【西脇山口線の近年の開通状況】



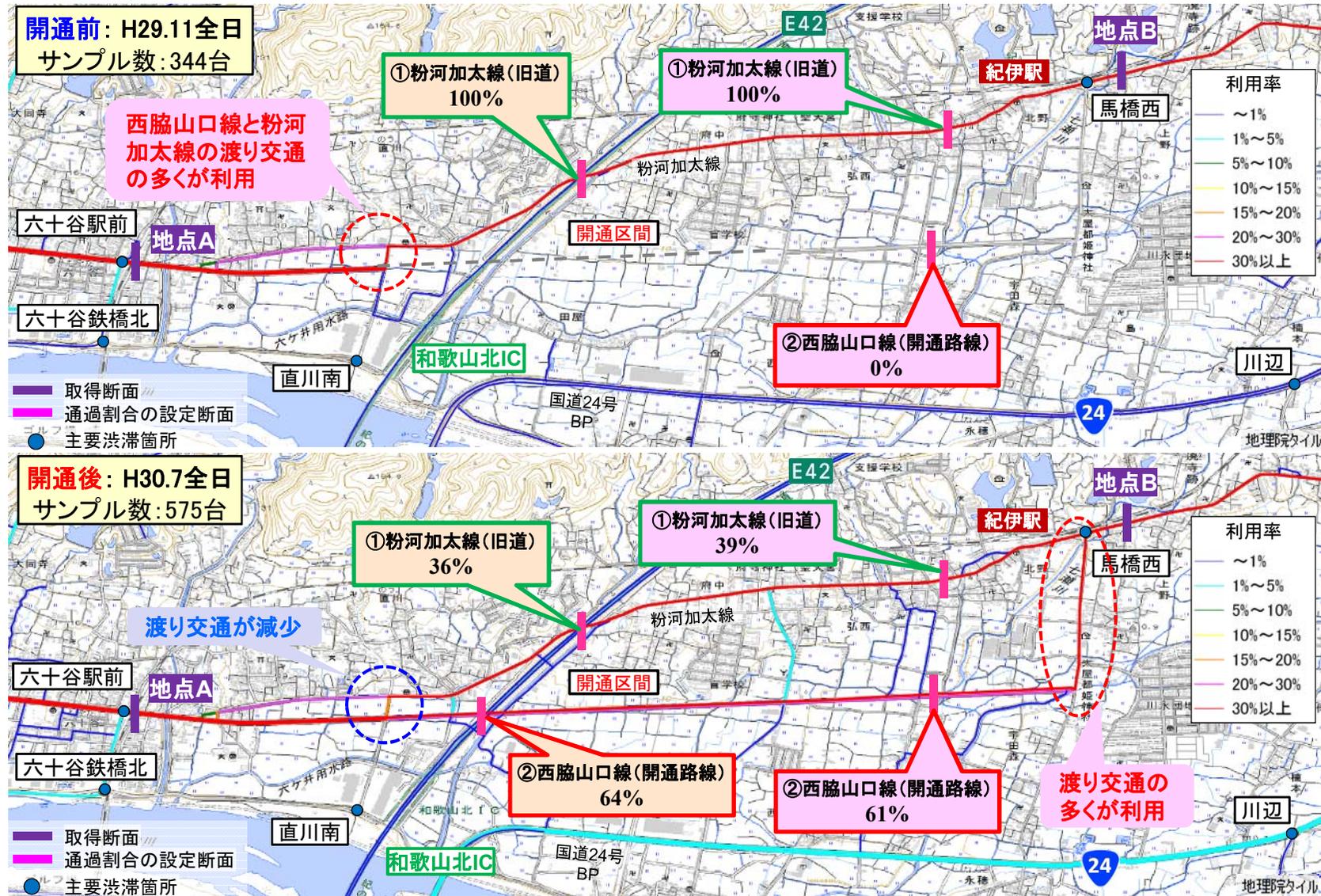
● : 主要渋滞箇所 (Main congestion points)

1-3. 交通流動の変化

交通流動 粉河加太線利用交通

下図は、地点Aと地点Bを通過する車両が、どの道路をどれぐらいの割合で利用したかを示す

○ 開通後、旧道(粉河加太線)で阪和道を横断する割合が36%、西脇山口線で横断する64%となり、交通の転換が確認できる。



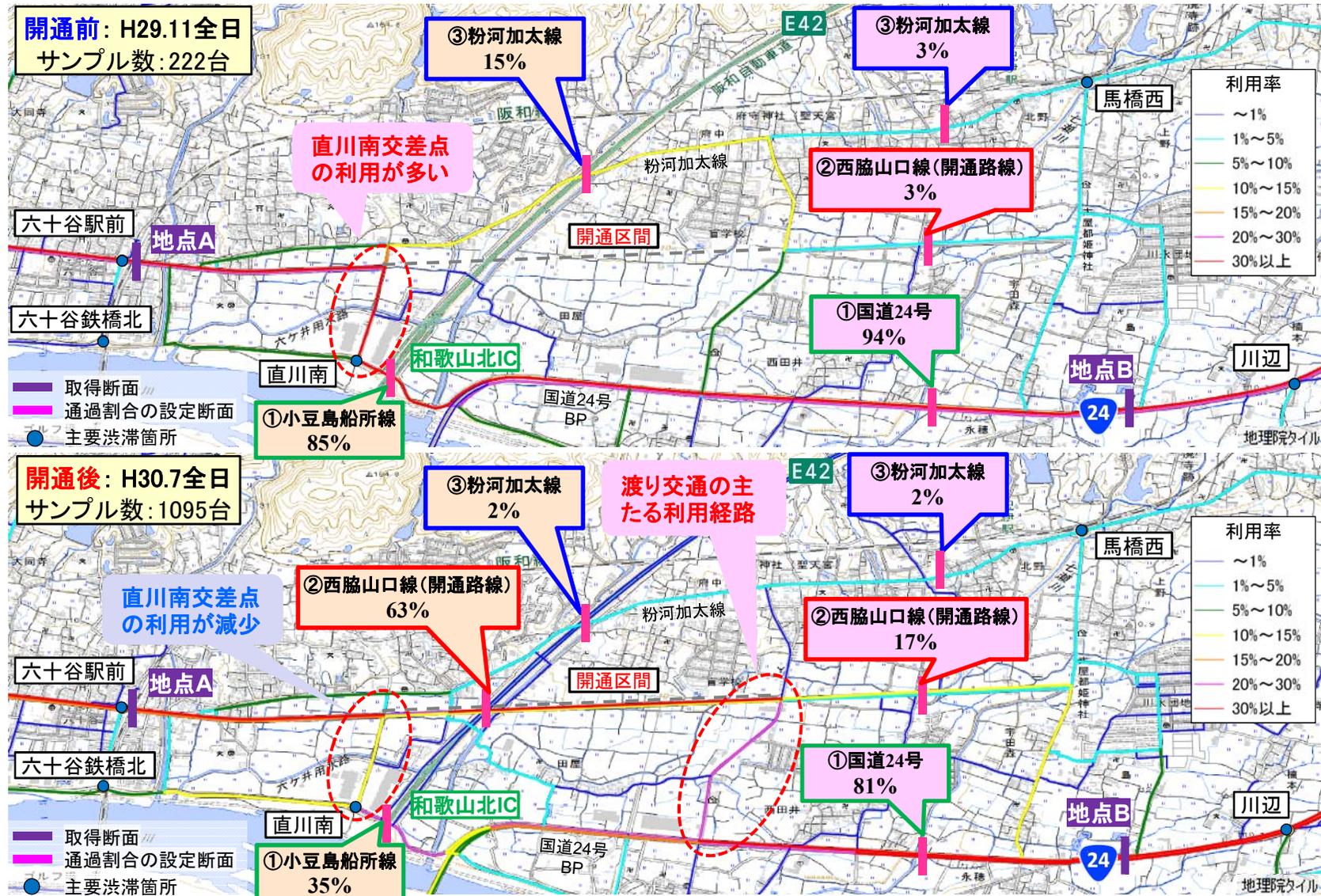
集計データ: ETC2.0プローブ情報(様式1-2をベースに再マッチング実施) 集計対象: 取得断面を通過した車両

1-3. 交通流動の変化

交通流動 国道24号BP利用交通

下図は、地点Aと地点Bを通過する車両が、どの道路をどれぐらいの割合で利用したかを示す

○ 開通後、堤防道路(小豆島船戸線)で阪和道を横断する割合が35%、西脇山口線で横断する63%となり、交通の転換が確認できる。



集計データ: ETC2.0プローブ情報(様式1-2をベースに再マッチング実施) 集計対象: 取得断面を通過した車両



北島湊線の開通効果

2-1. 北島湊線の開通状況

- 北島湊線が平成30年6月に2車線で開通し、紀の川右岸道路の未改良区間が解消。
- 紀の川右岸道路の未改良区間が解消したため、渡河交通の流動変化と北島橋北詰の交差点交通量の変化を確認した。

【北島湊線の開通状況】



● : 主要渋滞箇所

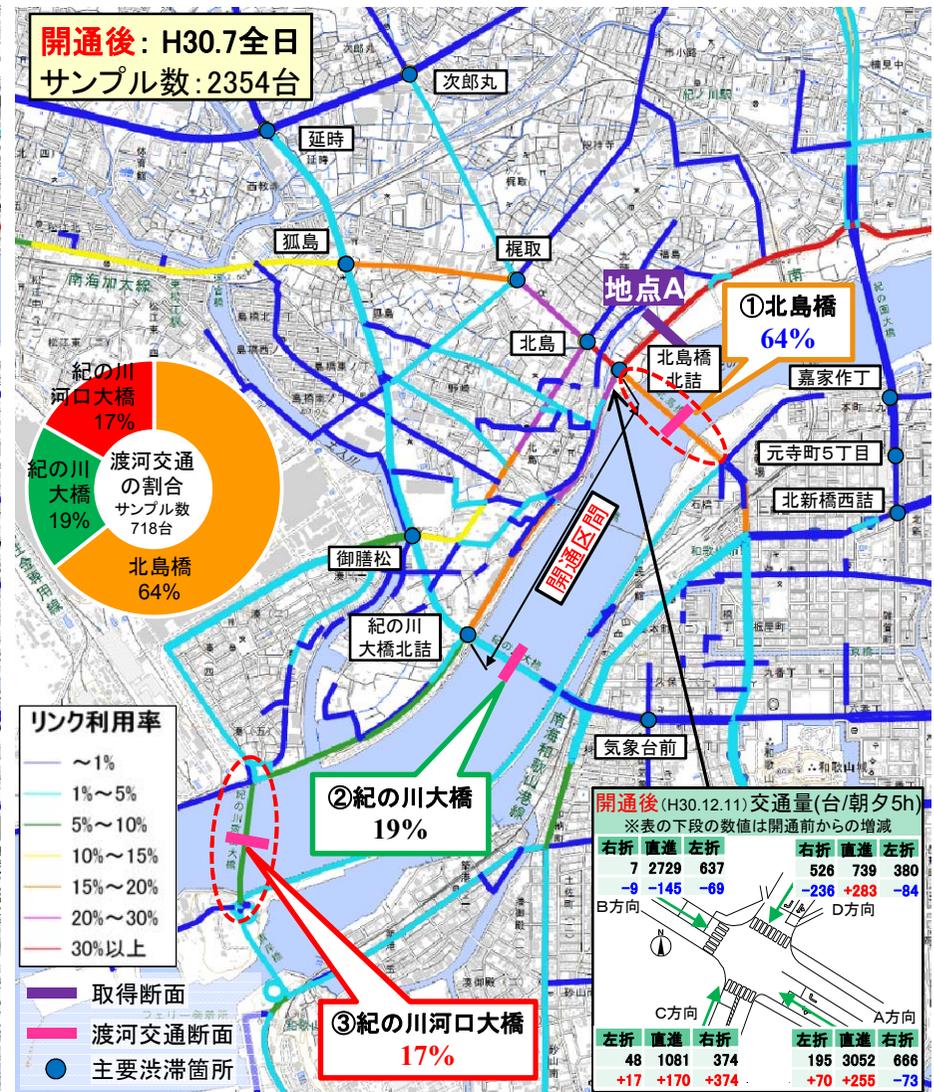
2-3. 交通流動の変化

交通流動 整備区間利用交通

下図は、地点Aを通過する車両が、どの道路をどれぐらいの割合で利用したかを示す

○ 開通後、北島橋の利用率が減少し、紀の川河口大橋の利用率が増加。

○ 北島橋北詰の交差点交通量は、開通後、北島湊線の利用が増加し、B方向の利用が減少、北島橋の右折車両も減少している。



集計データ: ETC2.0プローブ情報(様式1-2をベースに再マッチング実施) 集計対象: 取得断面を通過した車両



平成30年度
第2回 和歌山県道路交通渋滞対策協議会資料



観光地における交通状況の中間報告

和歌山県道路交通渋滞対策協議会





白浜地区における交通状況

白浜地区における旅行速度

【繁忙期における旅行速度：H29年・H30年お盆 17-18時台】

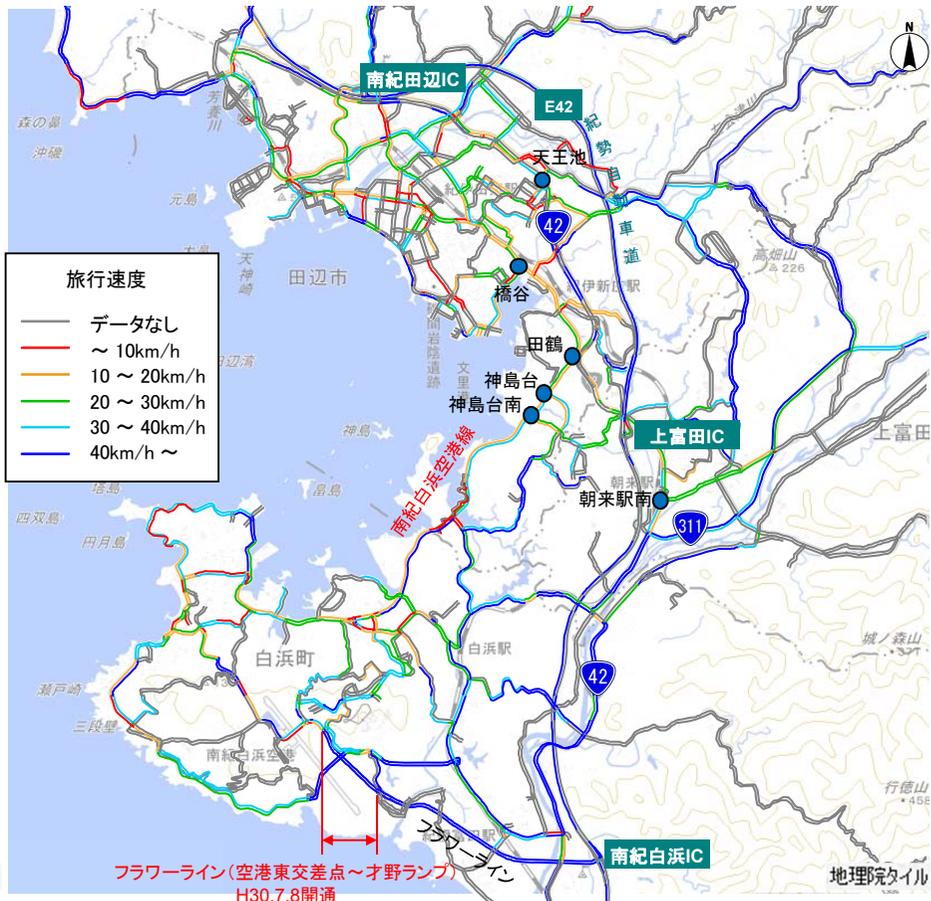
- 旅行速度は昨年と大きな違いは見られない。
- フラワーラインの開通区間(H30.7)の周辺においても大きな速度の変化はない。

お盆期間の旅行速度(夕方17-18時台)

◆H29年お盆期間旅行速度



◆H30年お盆期間旅行速度



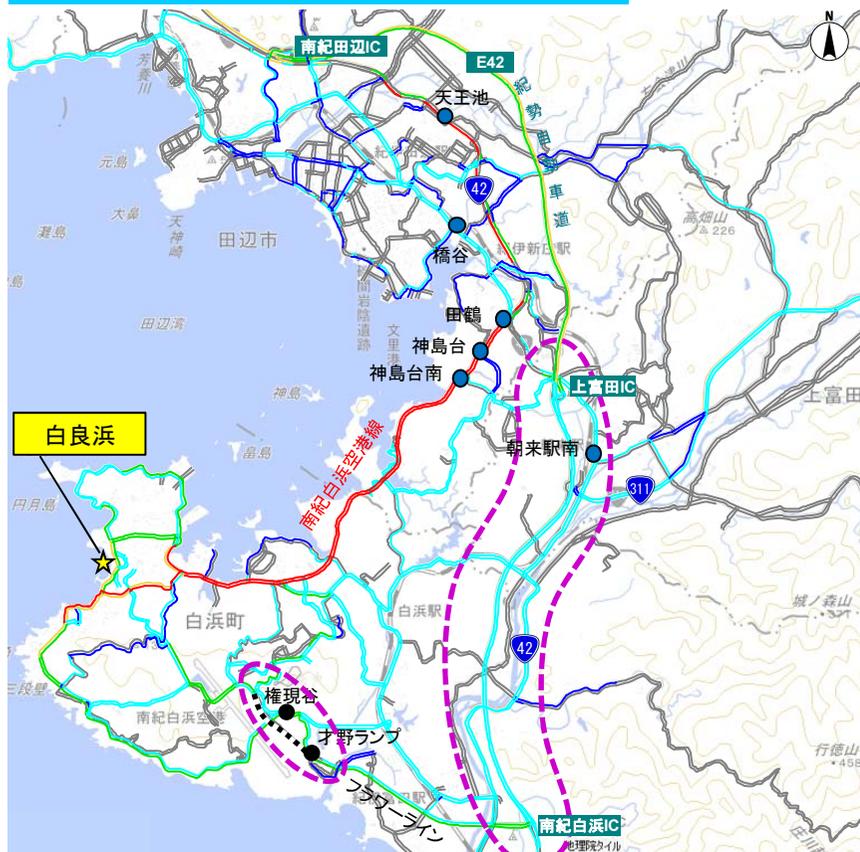
ETC2.0プローブ情報(H29年お盆期間(H29/8/12～8/14の3日間)、H30年お盆期間(H30/8/11～8/13の3日間))

白浜地区における利用経路比較①

【繁忙期(お盆)における白良浜付近の車両が利用する経路】

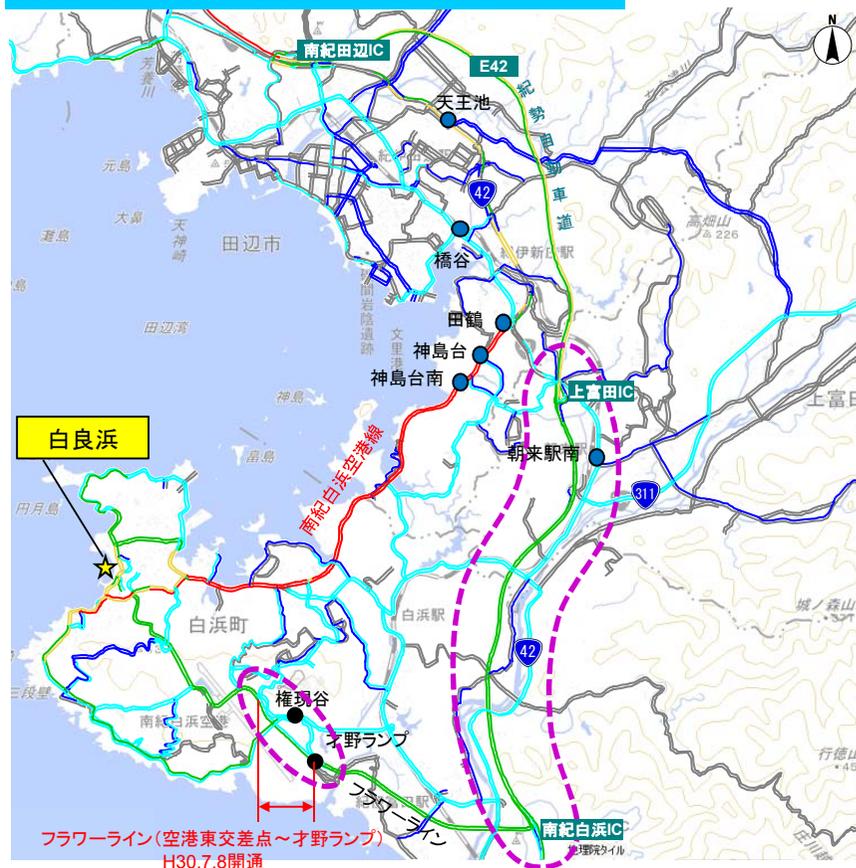
- H30のお盆期間において、フラワーラインの全線開通前と同様に、南紀白浜空港線の利用割合が高い。
- フラワーラインの開通区間(H30.7)と並行する県道34号白浜温泉線について権現谷～才野ランプの利用割合が減少している。
- H29に比べH30紀勢自動車道(南紀白浜IC～上富田IC)の利用割合が増加している。

白良浜(H29年お盆期間)

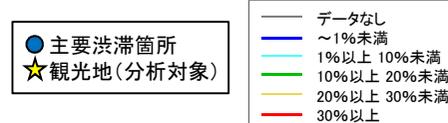


白良浜及び周辺宿泊施設街付近を走行した車両(174台)の各道路の利用率

白良浜(H30年お盆期間)



白良浜及び周辺宿泊施設街付近を走行した車両(264台)の各道路の利用率



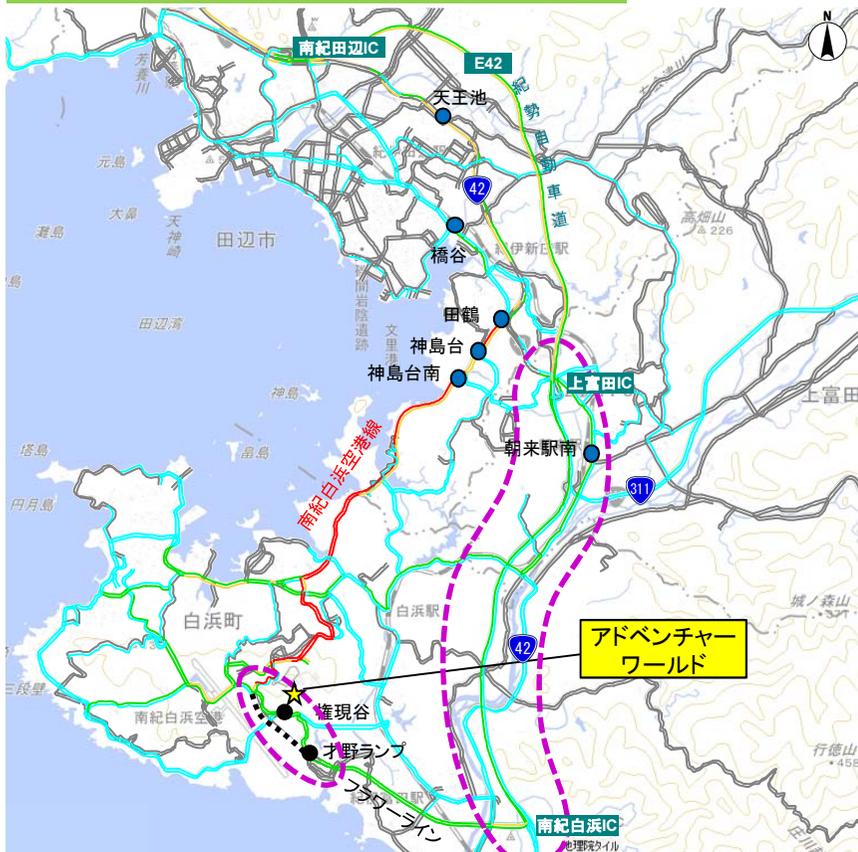
ETC2.0プローブ情報(H29年お盆期間(H29/8/12~8/14の3日間)及びH30年お盆期間(H30/8/11~8/13の3日間)の合計)

白浜地区における利用経路比較②

【繁忙期(お盆)におけるアドベンチャーワールド近辺の車両が利用する経路】

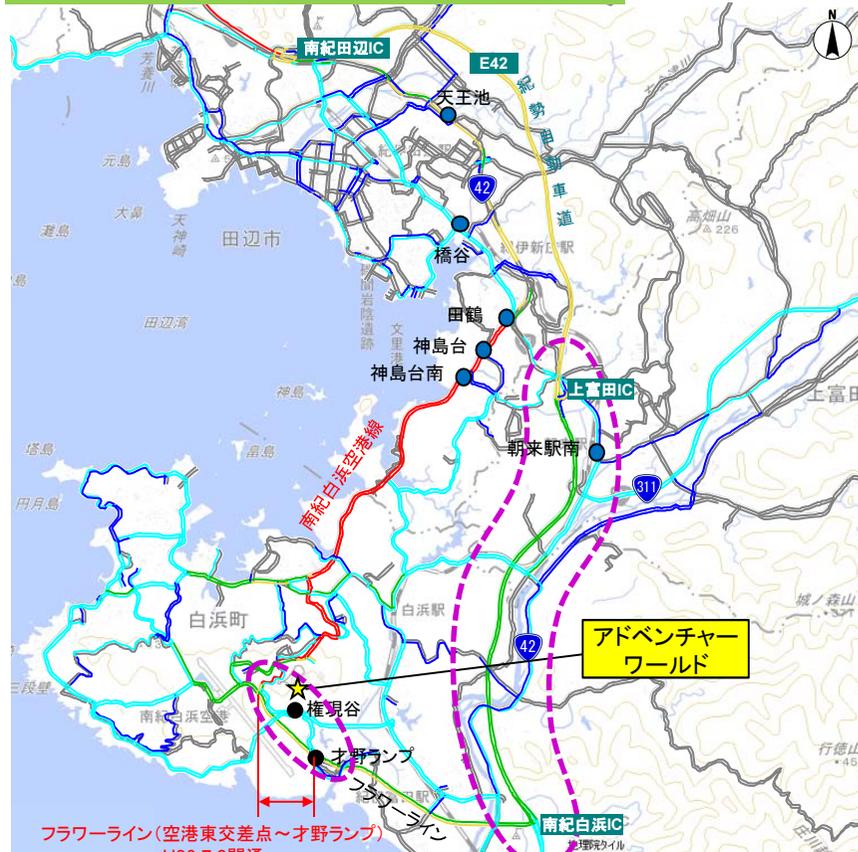
- H30のお盆期間において、フラワーラインの全線開通前と同様に、南紀白浜空港線の利用割合が高い。
- フラワーラインの開通区間(H30.7)と並行する県道34号白浜温泉線について権現谷～才野ランプの利用割合が減少している。
- H29に比べH30紀勢自動車道(南紀白浜IC～上富田IC)の利用割合が増加している。

アドベンチャーワールド(H29お盆期間)



アドベンチャーワールド駐車場出入口付近を走行した車両(87台)の各道路の利用率

アドベンチャーワールド(H30年お盆期間)



アドベンチャーワールド駐車場出入口付近を走行した車両(131台)の各道路の利用率

● 主要渋滞箇所
★ 観光地(分析対象)

データなし
～1%未満
1%以上 10%未満
10%以上 20%未満
20%以上 30%未満
30%以上

ETC2.0プローブ情報(H29年お盆期間(H29/8/12～8/14の3日間)及びH30年お盆期間(H30/8/11～8/13の3日間)の合計)

白浜地区における利用経路比較③

【繁忙期(お盆)におけるとれとれ市場近辺の車両が利用する経路】

○H30のお盆期間において、フラワーラインの全線開通前と同様に、南紀白浜空港線の利用割合が高い。
○フラワーラインの利用は少ない。

とれとれ市場(H29お盆期間)



とれとれ市場駐車場出入口付近を走行した車両(250台)の各道路の利用率

とれとれ市場(H30年お盆期間)



とれとれ市場駐車場出入口付近を走行した車両(353台)の各道路の利用率

● 主要渋滞箇所	— データなし
★ 観光地(分析対象)	— ~1%未満
	— 1%以上 10%未満
	— 10%以上 20%未満
	— 20%以上 30%未満
	— 30%以上

ETC2.0プローブ情報(H29年お盆期間(H29/8/12~8/14の3日間)及びH30年お盆期間(H30/8/11~8/13の3日間)の合計)



**平成30年度
第2回 和歌山県道路交通渋滞対策協議会資料**



今年度と次年度の渋滞対策について

和歌山県道路交通渋滞対策協議会



次年度協議会に向けて

○ 主要な道路開通に伴う交通状況の把握

今年度は、H30.3に開通した「西脇山口線」の一部開通の状況について把握。次年度には、以下の開通路線について交通状況の把握を実施。

⇒和歌山市内では、「北島湊線」が開通(H30.6)、「和歌山南SIC」「南港山東線」および「松島本渡線」が開通(H31.3)

⇒紀北東エリアでは「岩出橋」が開通(H30.11)、「泉佐野岩出線(4車線)」が開通(H31.3)

○ ピンポイント対策箇所における交通状況の把握

各交差点において、改良工事を実施。改良に伴う、交差点の状況変化を把握し、必要であれば、更なる対策等に向けて検討を実施。対象のピンポイント箇所は以下のとおり。

⇒大谷交差点北東部(第2阪和国道(下り)オフランプ)の右折レーンの増設、粉河加太線の西進右折レーンの延伸を今年度実施し、現在、粉河加太線の西進左折レーンの増設を調整中

○ 主要渋滞箇所(対策済)の状況確認及び解除検討

- ・ 第1回協議会で「粉河」「明洋交差点」「郵便橋」「勝浦臨海」、4つの交差点において主要渋滞箇所を解除。今回、「和歌山大学入口」「御幸辻」「東毛」、3つの交差点の解除に向けて検討を実施。次年度も引き続き、交差点の状況を確認し、解除等の検討を実施。(※調査検討・分析等に時間を要することもあり、3~5件程度実施予定)

○ 観光地における交通状況と交通案内の検討

- ・ 今年度、白浜地区の繁忙期(GW、お盆)における交通状況を確認。次年度は引き続き、フラワーライン開通に伴う交通(GW、お盆)の変化を把握し、変化を踏まえた交通案内の検討を実施。